



# 竜北通信

# 自学感動

甲斐市立竜王北中学校  
学校だより

発行 校長 青柳 香  
令和7年度 No. 9

2025. 12. 22

## ■ 心に残る 2 学期の風景

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、今年も残りわずかとなりました。

2 学期は、これまでに経験したことのない厳しい残暑の中で始まりましたが、紫龍祭や合唱発表会をはじめ、多くの行事が行われ、充実した学期となりました。始業式では、生徒の皆さんが元気に登校する姿に喜びを感じるとともに、保護者や地域の皆様への感謝の気持ちをお伝えしました。

今年は戦後 80 年という節目の年でもあり、平和の大切さについて改めて考える機会が多かった夏でした。

挨拶や掃除、思いやりのある行動が学校文化を育み、それが平和につながることを、生徒たちに伝えてきました。紫龍祭などの行事を通しては、伝統を受け継ぎながら成長してほしいという願いを込めて話をしました。

今学期を通して、北中文化が大きく花開いた、誇らしい場面をたくさん見ることができました。紫龍祭や合唱発表会で見たチームワークや一生懸命な姿、そして日々の学校生活の中で、目立たないところで仲間を支え、ひたむきに行動していた生徒たちの姿が印象的でした。日常の中でも、「誰かのために、ひたむきに動いていた人」がたくさんいました。また、3 年生の姿を見て、1・2 年生は 1 年後、2 年後の自分たちを思い描き、「竜北の伝統」「竜北 PRIDE」を受け継ぐ心構えを育てているように感じています。部活動においても、生徒たちは真剣なまなざしで取り組み、日々努力を重ねていました。とても充実した 2 学期だったと感じています。

令和 7 年の締めくくりにあたり、生徒の皆さんには、ぜひご家族とともに、今年 1 年や 2 学期の取り組みを振り返ってみてください。授業や行事、部活動など、さまざまな場面が思い出されることでしょう。それらを通して、新たな知識や主体性、協調性、思いやりの心、そして最後までやり遂げる力など、多くの力や心が育ったことと思います。一人ひとりの思いや成果は異なるかもしれませんが、自分自身をしっかりと見つめ、成長した自分に自信をもち、目標に向かって努力してきた自分を、ぜひほめてあげてください。そして、そうした取り組みから得た力を土台に、さらに新しい目標に向かって、一步一步成長していってくれることを願っています。

本年も、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。

教育は、日々の積み重ねの中こそ、その真価が宿ります。これからも、地域とともに、子どもたちの確かな成長を支えてまいります。

皆様、どうぞ良い年をお迎えください。



## ■ 令和8年度生徒会役員選挙

12 月 5 日に、令和 8 年度生徒会役員選挙の立会演説会と投開票が行われました。本年度の演説会は、立候補者によるディスカッション形式で実施されました。候補者たちは、より良い北中を創るために自分の考えを述べ合い、互いの意見に耳を傾けながら対話を重ねました。その姿からは、北中の未来を真剣に考える意欲と責任感が伝わってきました。

投票の結果、会長に〇〇〇〇さん、3 年副会長に〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、2 年副会長に〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが当選しました。

新たなリーダーたちのもと、来年度の生徒会活動がさらに活発に展開されていくことを期待しています。

## ■ 後期生徒総会 ～主体的に築く、北中のこれから～

12 月 10 日に、後期生徒総会が行われました。今年度の生徒会活動について、生徒会本部が議案書を作成し、各学級で事前に討議を行ったうえで、総会に臨みました。総会では、本年度のスローガン「感」から始まり、これまでの活動を全校で振り返りました。中でも話し合いの山場となったのは、「靴下の色の決まり」についての議題でした。生徒たちは、自分たちの生活を見つめ直し、「管理や準備のしやすさ」や「集団生活への影響」など、さまざまな視点から意見を交わしました。その姿からは、より良い学校生活を自分たちの手で築こうとする意識と、主体的に考える力の高まりが感じられました。



## ■ 総合的な学習の時間では ～総合的な学習で育つ、北中生のまなざし～

本校の総合的な学習の時間では、探究的な見方・考え方を働かせながら、地域の自然・環境・社会・文化・人々に関わる学習を通して、目的や根拠を明確にしつつ課題を解決し、自己の生き方を考えることを目標としています。各学年では、次のようなテーマで学習を深めています。

1 年生：「身近なことに目を向け、課題意識をもつ」

（自然体験学習、身近な職業について、福祉について、山梨を知ろう）

2 年生：「体験や調べ学習を通して、自分の生き方を模索する」

（山梨を知ろう、職場体験学習、日本の文化や歴史にふれよう）

3 年生：「体験やこれまでの学びをもとに、社会との関わり方を考え、それを発信・提言としてまとめる」

（日本文化について知ろう、甲斐市への提言）

現在、1・2 年生は来年度の「ふるさと探訪」や「修学旅行」に向けて、山梨や奈良・京都についての学習を進めています。ワークシートを活用しながら、山梨の概要や奈良・京都の歴史・文化について、基礎的な知識の習得に取り組んでいます。また、2 年生は先日、職場体験学習の事後発表会を行いました。三者懇談の際には、廊下に掲示された体験レポートをご覧いただけたでしょうか。生徒たちの学びの成果が丁寧にまとめられています。

3 年生は、12 月 3 日に「甲斐市の未来を考えるプロジェクト」の中間発表会を実施しました。この単元は、本年度から新たに導入されたもので、「自分たちの住む甲斐市をよりよい街にするには？」という問いを出発点とし、課題を見つけ、解決策を考える探究的な学習です。生徒たちは、市民アンケートや各種データをもとに、さまざまな視点から甲斐市の現状を丁寧に分析し、具体的な提案を考えました。各学級での発表を経て、代表グループが学年全体の中間発表会に臨みました。



「甲斐市への提言」内藤教育長から講評をいただきました。  
(3 年生)

当日は、甲斐市教育委員会の内藤和彦教育長にもご出席いただき、市政の進め方についてのお話を伺いました。また、「甲斐市に住んでいる皆さんが、自分の意見を発信することを大切にしてほしい」と、温かいエールもいただきました。今後は、甲斐市の魅力を再発見しながら、3 学期には「竜王北中の魅力」や、後輩たちに引き継ぐ「北中の伝統」についての学習を進めていく予定です。

3 年間の総合的な学習の時間を通して、生徒たちは新しい時代に必要とされる力——課題を見つけ、考え、伝える力を育んでいます。本校での学びが、これからどのように広がっていくのか、今後がとても楽しみです。



富士山世界遺産センターの方から講話を聴いて、「ふるさと探訪」の学びが始まりました。(1 年生)



職種別のグループで職場体験報告会をしました。(2 年生)

## ■ お願い

○夜間や早朝、土日、学校閉庁日(12/29 から 1/3)に緊急に連絡を取りたい場合は甲斐市教育委員会学校教育課(Tel 055-278-1696)へご連絡ください。後ほど学校から折り返し連絡がいくことになっています。詳しくは 4 月11日付 15 日配信した安心メールでご確認ください。

\*お子様のことで何かありましたら学校へ連絡をお願いします。

本校 HP はこちらからでも入れます。

●本校連絡先 甲斐市立竜王北中学校 〒400-0118 甲斐市竜王420  
TEL 055-279-7200



※「本校 HP」でも、各種の情報をお伝えしています。

※ 部活動に関して、欠席等の緊急連絡は、顧問の指示に従ってください。